ハイブリッドクラウドに向けた 効率性の高いセキュアな環境を実現する 「VMware vSphere 6.7」新機能のご紹介

仮想インフラに対する様々な要求





リスクを最小化する セキュリティ





vSphere 6.7 の4つのポイント

ハイブリッドクラウドに向けた効率性の高いセキュアなプラットフォーム



管理の大幅な簡素化と 効率化

- vCenter Server Appliance (vCSA) の強化
- 更に使いやすくなった HTML5 Client
- vSphere の迅速な起動



組み込みの包括的なセキュリティ機能

- TPM 2.0 と 仮想 TPM 2.0
- 暗号化された CrossvCenter vMotion



ユニバーサル アプリケーション プラットフォーム

- vSphere パーシステント メモリ
- NVIDIA GRID vGPU の サポート強化
- インスタントクローン



シームレスな ハイブリッドクラウド 環境

- ハイブリッドリンク モード
- クラウド間の ホット/コールド マイグレーション
- 仮想マシン単位の Enhanced vMotion Compatibility (EVC)



管理の大幅な簡素化と効率化

- vCenter Server Appliance (vCSA) の強化
- 更に使いやすくなった HTML5 Client
- vSphere の迅速な起動



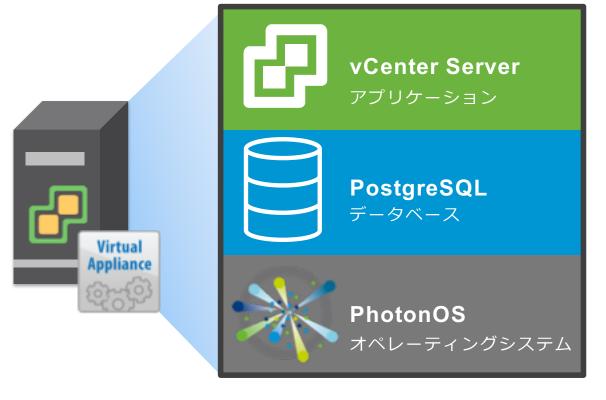
時代は vCenter Server Appliance!

- クイックなプロビジョニング
- ・ Windows OS やデータベースのライセンスが 不要
- 単一のサポート
- 予めチューニングされたデータベース

- · vCSA のバックアップオプションを強化
- Monitoring, Alerting, Repoint, CLI
- ・パフォーマンス



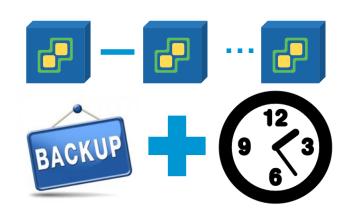
vCenter Server Appliance (vCSA)



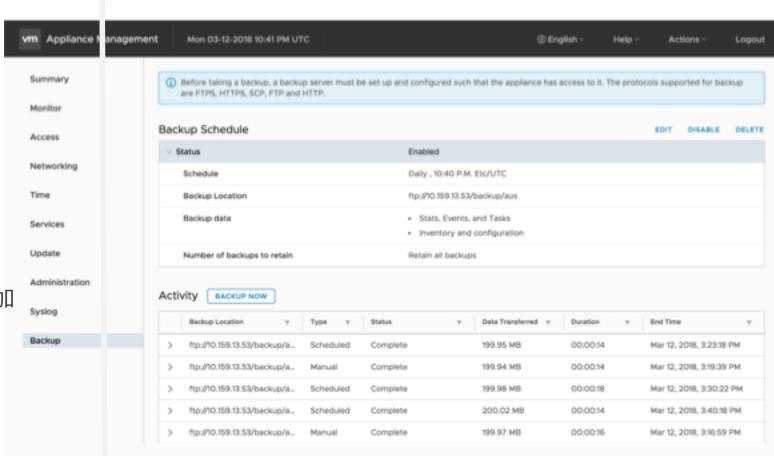


vCSA のバックアップオプションを強化





- ✓ 新たにバックアップスケジューラを追加
- ✓ 世代管理機能を実装
- ✓ バックアップ/リストアに向けた REST APIを実装

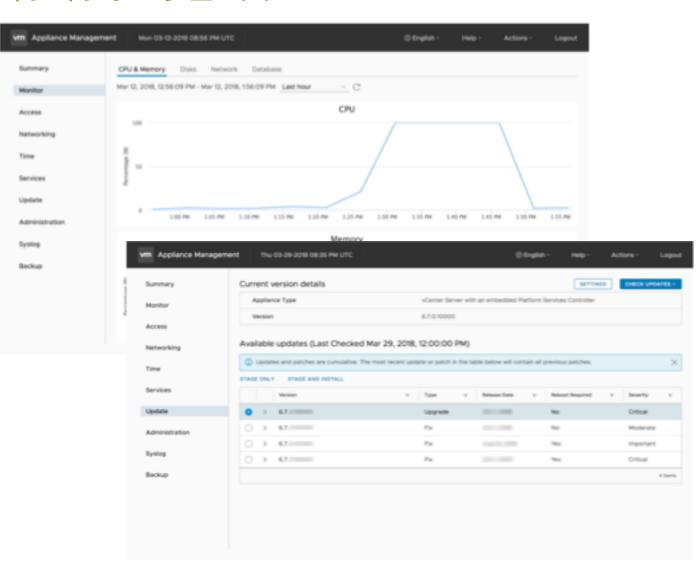




管理の大幅な簡素化と効率化

監視、アラート、レポート、コマンドラインインターフェース

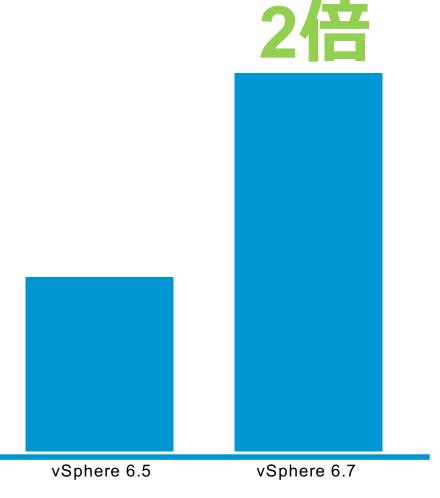
- わかりやすくなった監視
- 改善されたアラート
- シスログ対応
- 柔軟なパッチ適用及びアップデート
- PSC のリポイント
- メインのリポイント
- コマンドラインインターフェース (CLI) によるバッチ処理





vSphere 6.7 対 6.5 のパフォーマンス比較





3倍メモリ使用量の削減

3倍 高速な DRS 動作 (例:仮想マシンパワーオンのレイ テンシ)

(クラスタスケールですべてのメト リックを比較)

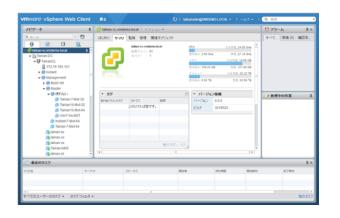
vCenter Server 操作 / 秒

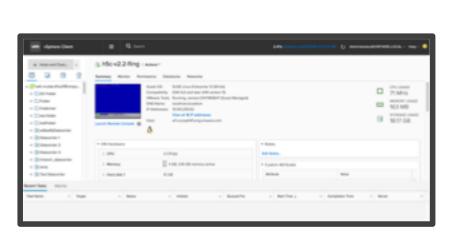


更に使いやすくなった HTML5 Client

95% 程度の機能がHTML5 Clientに対応







vSphere Client (C#)

- vSphere 6.5 から提供終了
- vSphere 6.5 以降でホストに直接アクセスする場合は Host Client を利用

vSphere Web Client (Flash)

• vSphere 5.1 以降の追加機能をすべて網羅

vSphere Client (HTML 5)

• vSphere 6.5 から提供開始

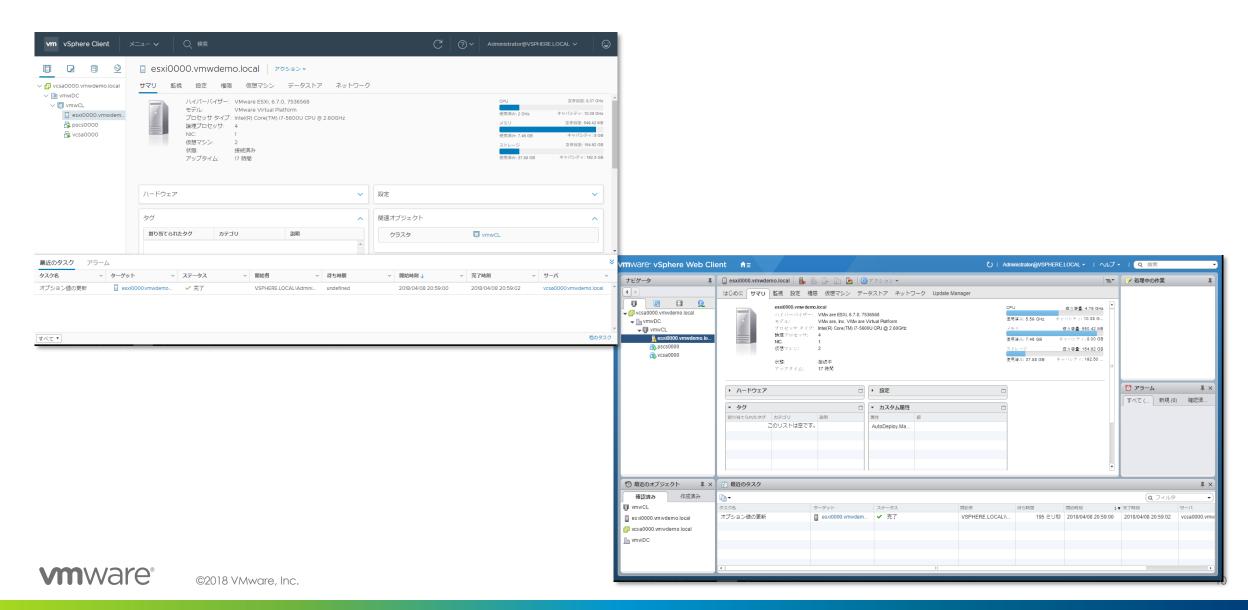
Host Client (HTML 5)

- vSphere 6.5 から提供開始
- 直接ホストへ接続する場合はこちらを利用



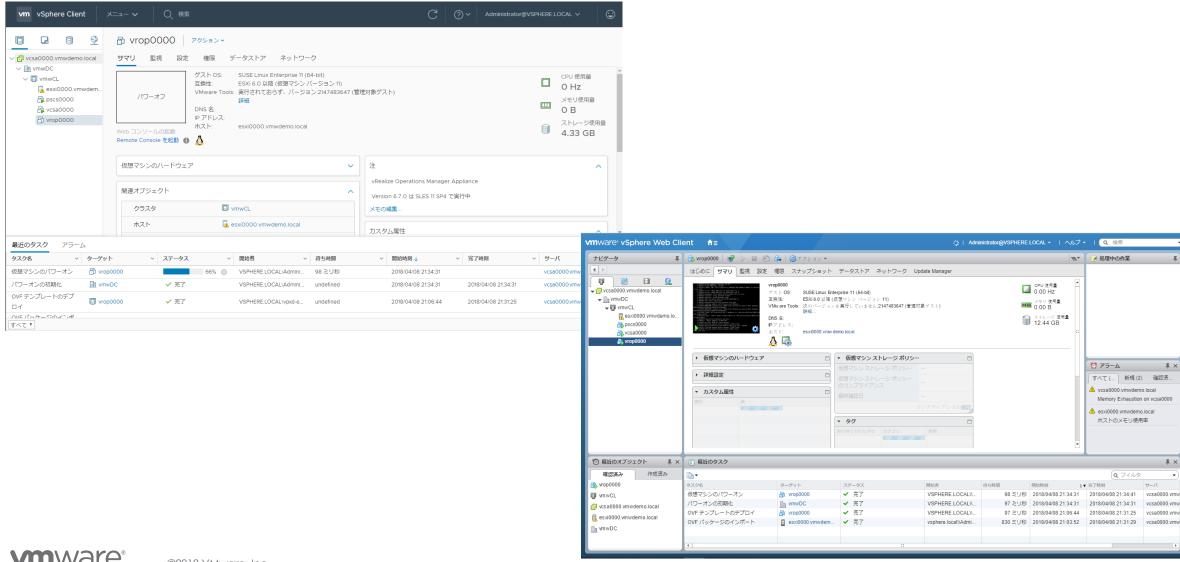
vSphere Client(HTML5) と vSphere Web Client(Flash)

ESXiホスト



vSphere Client(HTML5) と vSphere Web Client(Flash)

仮想マシン





更に使いやすくなった HTML5 Client

95% 程度の機能がHTML5 Clientに対応



vSphere Update Manager

コンテントライブラリ

vSAN

vRealize Operations

ストレージポリシー

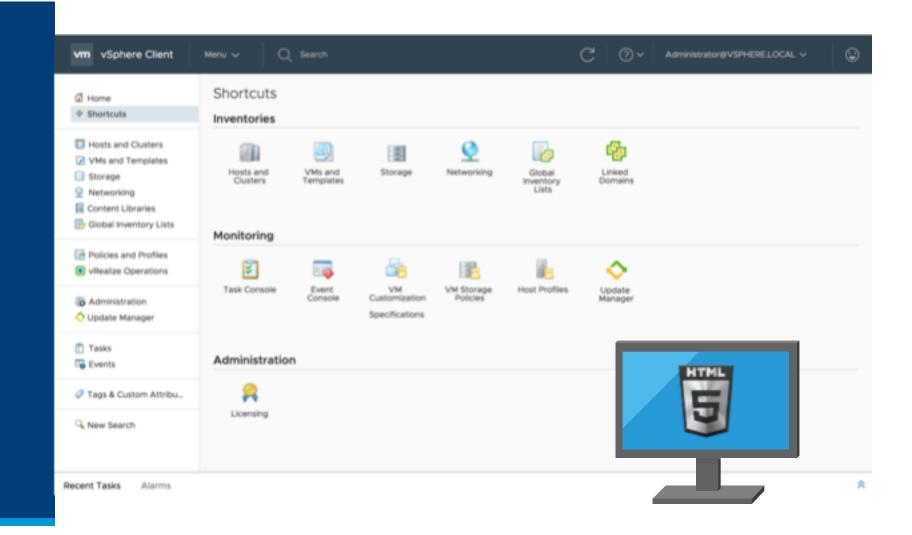
Host Profiles

分散仮想スイッチ

ライセンシング

パートナー製品プラグイン

More….





vSphere の迅速な起動



2種類の方法でメンテナンス/アップグレード時のダウンタイムを最小化

Single Reboot Upgrade

ESXi 6.5 からESXi 6.7 へのアップグレード時に 必要な再起動回数を減らし、スピーディな アップグレードを実現

> vSphere 6.7 への アップグレードを促進

Quick Boot

- ・ホスト再起動時の所要時間を大幅に短縮
- ・パッチ適用時のメンテナンスダウンタイムを最小化

vSphere 6.7の 起動プロセスを最適化



アップグレード時の再起動回数の削減

管理の大幅な簡素化と効率化

Single Reboot Upgrade

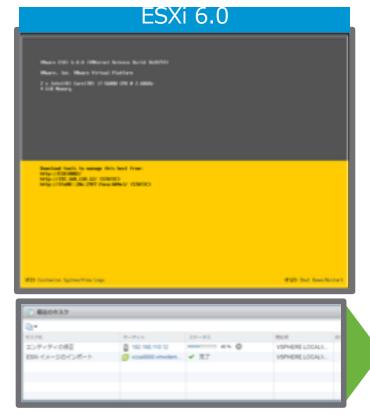
ESXi ホストの再起動に要する回数を削減

- ESXi のメジャーバージョンアップグレード時の再起動回数を通常2回必要だったものを1回に削減
 - 1. Update Manager がオストのアップグレード準備で再起動
 - 2. インストーラがホストのアップグレードを実施し、その後再起動

再

起

動











14



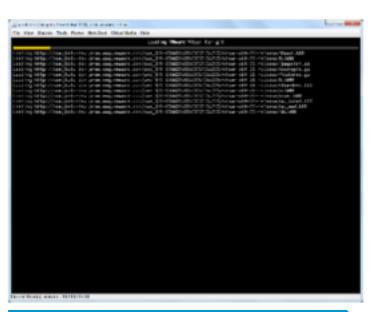
vSphere の迅速な起動

Quick Boot

ESXi ホストの再起動に要する時間を大幅に短縮

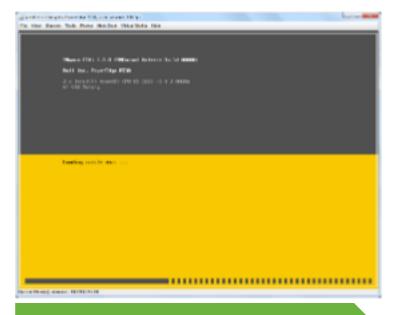
- ESXi の起動に関わるプロセスのみを実行
 - BIOS/Firmware の Initialization をスキップ
 - パッチ適用、アップグレード時のダウンタイムを短縮





Binary Fetching バイナリの読み込み





Code Execution ESXiの起動



組み込みの包括的なセキュリティ機能

- TPM 2.0 と仮想 TPM 2.0
- 暗号化された Cross-vCenter vMotion



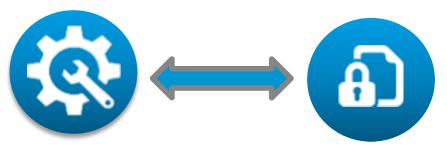


TPM 2.0 と仮想 TPM 2.0 のサポート

ハイパーバイザーとゲスト OS のセキュリティ強化



TPM 2.0 によるリモートホスト認証



ESXiホスト

vCenter



仮想 TPM 2.0 によるゲストOSの保護



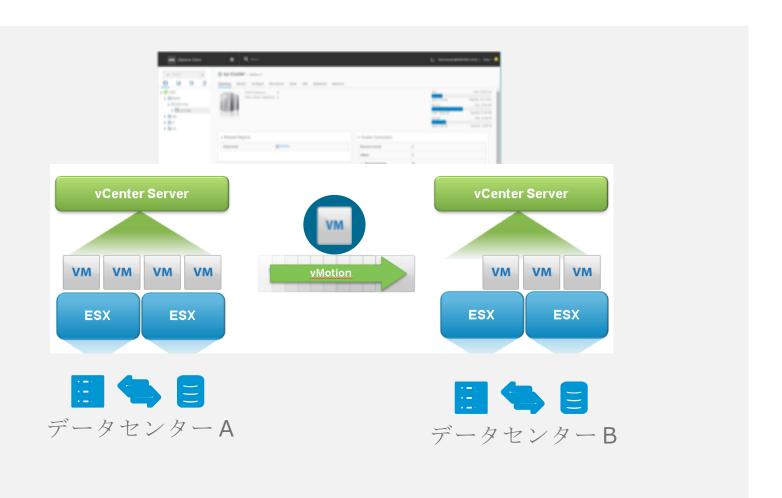
パブリック/プライベート クラウド管理者に対して、またはゲスト内攻撃からゲストの機密情報を保護



暗号化された Cross-vCenter vMotion



暗号化を使用し、vCenter の境界を越えて仮想マシンをシームレスに移行



概要

バージョンが異なる 2 つの vCenter Server 間の vMotion を 暗号化

仮想マシンの UI や API からのライブ/ コールド マイグレーションを提供

メリット

暗号化により長距離間の vMotion を可能にすることで、複数の地域に分散したデータセンター間で vMotion を利用可能

災害対策などのユースケースにおいてセ キュリティを確保

ユニバーサル アプリケーションプラットフォーム

- vSphere パーシステント メモリ
- NVIDIA GRID vGPUのサポート強化
- ・インスタントクローン





専門ハードウェアの進歩を活用









Persistent Memory (PMEM)

超高速アクセスを実現する次世代のデバイスをサポート



DIMM スロットに装着可能な不揮発メモリをサポート

DRAM以下の値段で、SSDよりも高速な性能

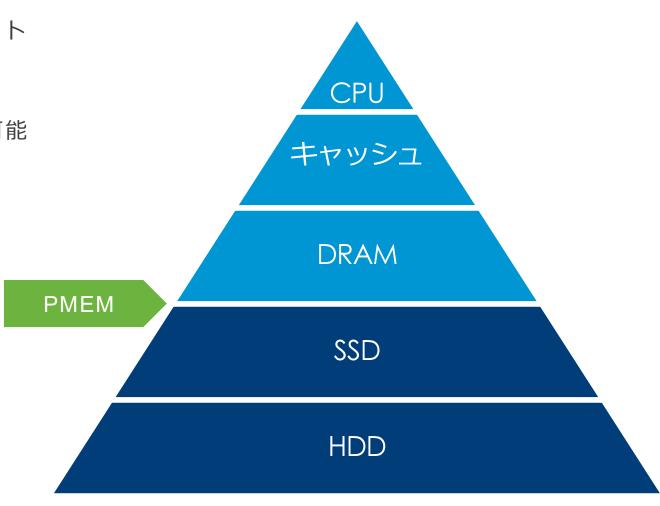
仮想NVDIMMと、データストアの両方での利用が可能

バイト単位でのアクセス

平均 0.5 µ秒以下のレイテシー

高耐久性

DRAMよりも省電力

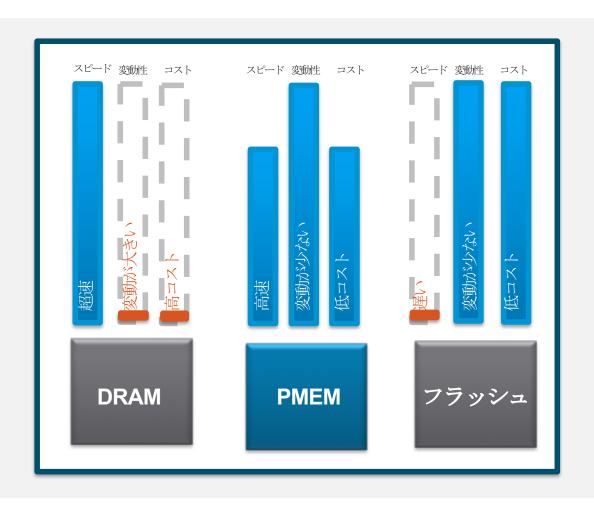




Persistent Memory (PMEM)

メモリの選択肢を増やしてパフォーマンスを向上





概要

DRAM と同等のパフォーマンスを フラッシュと同程度の価格で実現

PMEM をブロック ストレージとして 仮想マシンに公開

PMEM をバイト単位でアクセス可能な ストレージとしてゲスト OS に公開

メリット

既存のアプリケーション機能を強化して パフォーマンスを最大 6 倍まで向上

コストを最小限に抑え、ブロック ストレージ利用時に必要な移行作業も不要

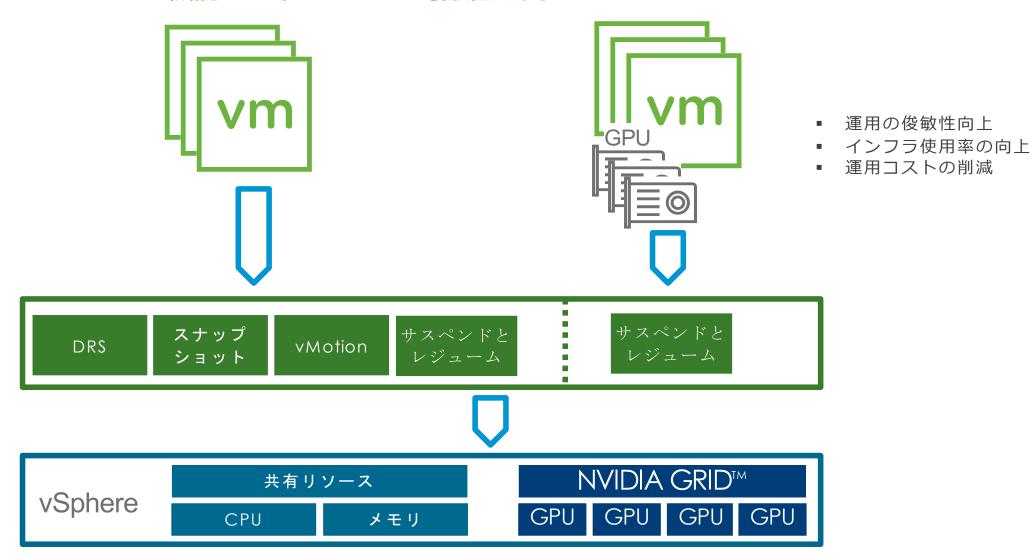
新しいユースケースへの対応と高パフォーマンスなアプリケーションの構築

開発者はメモリを再利用してアプリケーションの最適化、新機能を実現可能

NVIDIA GRID vGPU のサポート強化

アプリケーション プラットフォーム

サスペンドとレジューム機能により vGPU の可搬性を向上





インスタント クローン



- 単一のAPI呼び出しによる実行
- ソース VM とは独立して構成されるクローン
- vMotion/HA/DRS のサポート



新しい Instant Clone は、ソース VM の状態を維持しながら、 リブートすることなく即座に何 百ものクローン VM を展開する ことが可能



クローンをフォークするのにか かる時間を vSphere 6.5 より 30倍改善した「Just-In-Time」 プロビジョニングが可能



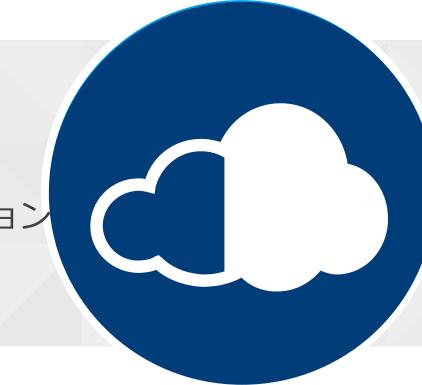
例として、既に新しい Instant Clone を使用し、開発担当者と 運用担当者が連携しながら毎日 700 以上のVMを展開する運用 が可能

シームレスな ハイブリッド クラウド環境

• ハイブリッドリンクモード

• クラウド間のホット/コールドマイグレーション

仮想マシン単位の Enhanced vMotion Compatibility (EVC)





ハイブリッド リンク モード



ハイブリッド クラウド

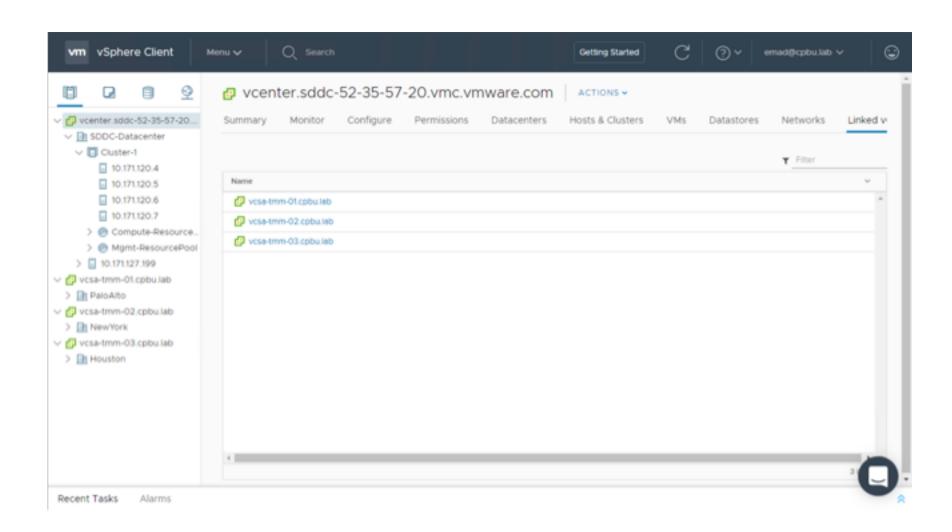
26

オンプレミスとクラウドをまたがる単一の管理ビューを提供

オンプレミス環境と VMware Cloud on AWS 間での単体の管理コン ソールを提供

SDDC クラウドとオンプレミスデータセンターの間で個別のアクセス許可を維持しながら VM の展開も可能

リンクの有効化・無効化 も操作可能





クラウド間のホット/コールド マイグレーション



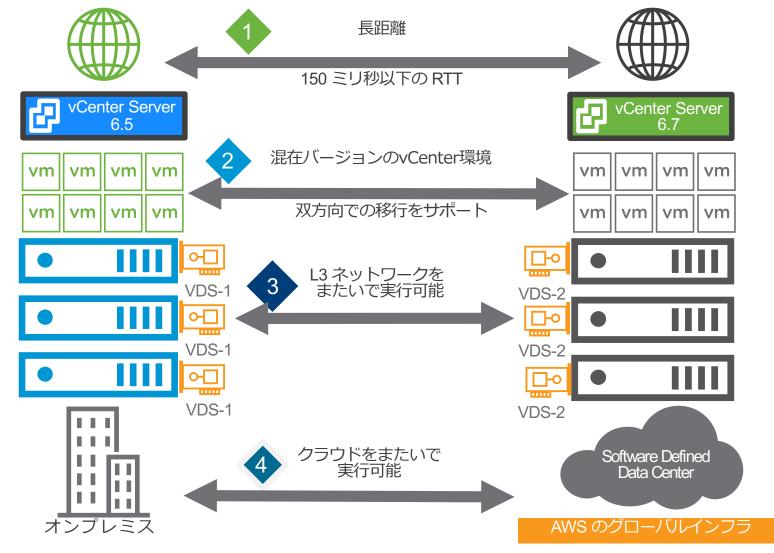
ハイブリッド クラウド

混在するバージョンのvCenterをまたいだ移行をサポート

システム要件

- 150 ミリ秒以下の RTT
- 250 Mbps 以上の帯域幅
- ・ 仮想マシンの互換性 v9以上





仮想マシン単位での Enhanced vMotion Compatibility





ホストのクラスタ単位ではなく、 個々の仮想マシン単位で EVC の設定が可能

VMware Cloud on AWS を含み、クラスタを超えた仮想マシンの向上したモビリティを提供

引き継がれる EVC モード:

- Cluster
- Data Center
- vCenter Server

パワーサイクルも引き継がれる

